

## もっと学びたい人へ (6)

❖ ..... ❖

これまでに見てきた動詞シルシ形の中で、動詞本体の前に時々意味も持たずに現われる‘-ku+’に気づいていましたか？

((例 1)) Saida alikuwa mwalimu.  
〈サイダは先生であった。〉

((例 2)) Tutakwenda lini ?  
< Tutakuenda lini ?  
〈私たちいつ行く？〉

これらは、ある条件のもと、決まった動詞本体の前に現われます。その動詞本体とは主に、単音節動詞という種類の動詞本体です。ここでは、この単音節動詞と、単音節動詞の前に現われる‘-ku+’について、一緒に見ていきましょう。

❖ ..... ❖

### ◆ 単音節動詞

単音節動詞とは、音の切れ目が1つしかない動詞本体です。

((例 1)) + wa 〈～になる、～である〉

+ la 〈食べる〉

+ nywa 〈飲む〉

+ ja 〈来る〉

+ pa 〈～に与える〉

例外的に、「音の切れ目」が2つであっても、単音節動詞のような形をとる動詞本体もあります。

((例 2)) + enda 〈行く〉  
(< + e-nda)

### ◆ 単音節動詞の前の‘-ku+’

単音節動詞の動詞本体の前の‘-ku+’は、ある条件のもとで、動詞シルシ形の全体の音を整えるために現われます。この‘-ku+’は、目的語のシルシと一緒に現われることはありません。よって、常に目的語を必要とする‘+ pa’〈～に与える〉のような単音節動詞ではともに現われません。

それでは、‘-ku+’の現われる条件について、以下で見ていきましょう。後の課で見る動詞シルシ形についても、一緒にまとめてあります。

▽ ‘-ku+’の現われる動詞シルシ形

	(肯定形)	(否定形)
スル・シタ式(現在)	○ Ana <b>kula</b> . 〈彼は食べる。〉	× Hali. 〈彼は食べない。〉
スル・シタ式(過去)	○ Ali <b>kula</b> . 〈彼は食べた。〉	× Hakula.* 〈彼は食べなかった。〉
スル・シタ式(未来)	○ Ata <b>kula</b> . 〈彼は食べるだろう。〉	○ Hata <b>kula</b> . 〈彼は食べないだろう。〉
スル・シタ式(完了)	○ Ame <b>kula</b> . 〈彼は食べた。〉	× Hajala. 〈彼はまだ食べていない。〉
シテ・シロ式	○ <b>Kula</b> / <b>Kuleni</b> . 〈食べて／食べる。〉	(ない)
ナラバ・スレバ(…スル)式	× Akila, 〈彼が食べれば, 〉	○ Asipo <b>kula</b> , 〈彼が食べなければ, 〉
ナラバ・スレバ(…シタ)式	○ Ange <b>kula</b> , 〈彼が食べたら, 〉	○ Asinge <b>kula</b> , 〈彼が食べなかったら, 〉
コトの式	× kula 〈食べること〉	○ kuto <b>kula</b> 〈食べないこと〉
シ・シテ・シヨウ式	× ale, 〈彼が食べるように, 〉	× asile, 〈彼が食べないように, 〉
トコロノ式	○ anacho <b>kula</b> 〈彼が食べるもの〉	○ asicho <b>kula</b> 〈彼が食べないもの〉
スル・シタ式(継続の時間)	× ~, akala. 〈彼は~して, 食べた。〉	(ない)
スル・シタ式(同時の時間)	× akila, 〈彼は食べながら, 〉	(ない)

\* ‘Hakula’の‘-ku-’は、時間のシルシ過去の否定である。

主語のシルシと時間のシルシが一体化した動詞シルシ形についても見ておきましょう。

	(肯定形)	(否定形)
スル・シタ式(単純現在)	× Ala. (< Aala.) 〈彼は食べる。〉	× Hali.* 〈彼は食べない。〉
スル・シタ式(完了)	× Kala. (< Amekula.) 〈彼は食べた。〉	(ない)
スル・シタ式(習慣)	× Hula. 〈彼はいつも食べる。〉	(ない)

\* スル・シタ式(現在)の否定と同形である。

色んなパターンが出てきましたが、極めて規則的です。何回も声に出して言い、口を慣らしてしまいましょう。

... ❀